

視覚的コミュニケーション支援コース 受講者募集

2017年6月～、視覚的なツールを使用してコミュニケーション支援を行う個別指導のコースを開始いたします。

ご希望の方は下記の募集要項をお読みの上、必要書類を4月21日(金)必着でご郵送下さい。

《コース受講者の声》

★息子の好きなおやつや遊びを好子として、カードで要求する事、要求する相手を探すこと、カードを弁別して要求を出すこと等を教えていただき、自宅でもカードで様々な要求を出せるようになりました。

「手伝って」の要求をセッションで教えて頂いた日の夕方に、息子が突然玩具と手伝ってカードを持ってきて「手伝って!」と言ったときには、セッションの成果を心から実感しました。

親である私が学ぶことが多く、またいつか受けたいと思うセッションでした。

★息子にとっては、この個別指導を受けて言葉以外での表現方法が出来るようになり、生活がよりスムーズに混乱なく過ごせるようになってきたと思います。同時に、親としても息子の思いを理解できるようになったり、スケジュールを示すことで何度も口うるさく繰り返したイライラも減り、家族として生活全般が落ち着いてきました。

やはり個別指導という事で、すべて息子のペースで進めてくださった事が息子にとっては吸収しやすく、いち早く理解でき実践できることに繋がったと思います。

【日程】

A) 水曜日 午前コース	B) 水曜日 午後コース	C) 木曜日 午前コース	D) 木曜日 午後コース	内容
10:30~11:30	15:00~16:00	10:30~11:30	15:00~16:00	
6月14日	6月14日	6月15日	6月15日	打ち合わせ・お子さんの行動観察
6月28日	6月28日	6月29日	6月29日	セッション①
7月12日	7月12日	7月13日	7月13日	セッション②
7月26日	7月26日	7月27日	7月27日	セッション③
8月9日	8月9日	8月10日	8月10日	セッション④
8月23日	8月23日	8月24日	8月24日	セッション⑤
9月6日	9月6日	9月7日	9月7日	セッション⑥
9月20日	9月20日	9月21日	9月21日	セッション⑦
10月4日	10月4日	10月5日	10月5日	予備日(途中お休みの振替日)
10月18日	10月18日	10月19日	10月19日	予備日(途中お休みの振替日)
11月15日	11月15日	11月16日	11月16日	まとめ報告(保護者の方のみ)

【募集人数】 1~2人

【指導目標】

視覚的なコミュニケーション手段を使って、お子さんが自発的に要求や拒否などを出して、適切に人とコミュニケーションをとれるようになること。また、そのコミュニケーションをご自宅や学校など、PRISM以外の場所でも使用できるようになることを目指します。

保護者の方にはセッションに同席して様々な役割を担っていただくので、保護者の方もお子さんに合わせたコミュニケーションのやり方を学ぶことができます。

【対象となるお子さん】

- ・上記コースの日時に必ず来院可能な方
- ・当クリニックで自閉症スペクトラム障害（ASD）と診断された方（年齢は問いません）
- ・お子さんと同居のご家族全員が当クリニックでの支援方針に同意し、支援の理念や技術を積極的に学ぶことを希望されている方

【対象外となるお子さん】

- ・上記コースの日時に来院できない方
- ・診断を希望されていない方や診断が未確定の方、自閉症スペクトラム障害以外の方
- ・発達障害で他の医療機関を受診中の方、他院で言語訓練や作業療法をされている方（指導・支援の方針が当院と他院で異なると、お子さんが混乱する場合があります）
- ・セブンベルクリニックを受診中の方は、セブンベルクリニックでの言語訓練のみご利用可能です。

【指導内容】

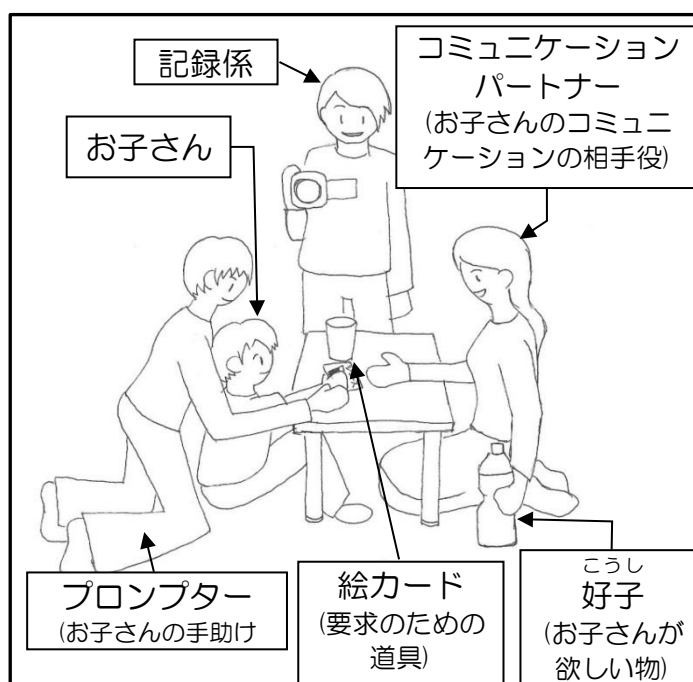
ピラミッド教育コンサルタント社の絵カード交換式コミュニケーション・システム（The Picture Exchange Communication System 略してPECS）の方法を参考に指導を行います。

お子さんが、自発的で人に向かったコミュニケーションを取る方法を身につけられるように、保護者の方とPRISMスタッフとが協力して取り組んでいきたいと考えています。

おやつ場面や遊びの場面を設定し、その中でお子さんが欲しいものを要求するという形でコミュニケーションの練習をしていきます。（図参照）

お子さんとのコミュニケーション練習（保護者の方も練習に参加します）の後、保護者の方とその日のまとめやご家庭での取り組みについてお話しする時間を設けます。

全セッション終了時には、セッション内容をまとめたレポートと、各セッションの様子を収めたDVDを保護者の方にお渡しします。



図：セッションの一例（おやつ場面での要求練習）

【担当者】

PRISMスタッフ 鈴木依梨 が主としてセッションを担当致します。副セラピストとして他にスタッフがもう一人入る場合があります。

医師 早川星朗は基本的にセッションには参加しませんが、監督者としてセッション内容を把握し、助言します。

【費用】

108,000円（現金のみ 税込）

※本コース受講にあたって、当院指定の検査（PEP あるいは WISC）の評価が必要です。

2年以内にこれらの検査を受けていない方、あるいは検査の詳細な報告書をお持ちでない方は、当院で検査予約をしていただきます。

その場合、上記の費用とは別に、通常の診察と同じように保険算定をした上で、予約料を頂戴いたします。予約料は、平日3,780円 土曜日4,860円で、検査と検査結果報告の2回分必要です。

※コース費用は契約成立後、第一回セッション前までに一括でPRISM受付にお支払ください（現金のみ）。

※セッション時に使用する課題材料は原則として費用に含まれます。

※セッション時に使用する飲食物はご持参頂きます。

【受講の流れ】

お申込み（4月21日（金）締め切り 当院に書類必着）、書類審査（4月24日～）

↓

書類審査通過／不通過連絡（4月28日（金）までにご連絡差し上げます。）

通過の方はお電話で、不通過の方にはお手紙でご連絡いたします。

↓

書類審査通過者 PRISM スタッフとの面接（1時間程度）（保護者の方のみでおいで下さい）

【内容：コース内容説明・検査日程決定】

4月26日（水）10:00・11:00・13:30・14:30

4月27日（木）10:00・11:00

4月28日（金）10:00・11:00

5月1日（月）10:00・11:00・13:30・14:30

5月2日（火）10:00

（この中から1回）

↓

お子さんの発達検査（5月8日（月）～19日（金）のうち1日 基本午前中2時間程度）

↓

発達検査結果報告・契約・費用お支払い（5月29日～6月2日）（約1時間 保護者のみ）

↓

セッション開始（6月14日～・15日～）

【必要書類（お申し込みの際にご記入・ご郵送いただくもの）】

- ・申込書・受講同意書

〒458-0848 名古屋市緑区水広 1-1715
ロイヤルベルクリニック PRISM
視覚的コミュニケーション支援コース担当者 宛

【お問い合わせ】

- ・ご不明な点がございましたら、お手数ですが
FAX（052-879-6672）かメール（royalbellprism@gmail.com）でご連絡下さい。
電話でのお問い合わせは申し訳ありませんがお受けしかねます。
- ・原則として、お問い合わせから1週間以内にお返事を致します。
FAX・メールでのご連絡の後、1週間たってもPRISMからの返事がない場合のみ
お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

- ・感染症等で体調が万全でない場合は、院内感染を防ぐためお休みしていただきます。体調の悪いときはお早めにご連絡ください。病気でお休みした場合や、大雪・台風などの振替日として、予備日を2日取っております。
- ・セッションの際、保護者の方がセッションに入って、記録を付けたり、ビデオ録画をしたり、コミュニケーションの相手役になったりと役割を担っていただきますので、ごきょうだいの同伴来院はご遠慮ください。

【免責事項】

- ・このコースは、お子さんの発語を目的としたものではありません。
- ・お子さんの好きなもの探しにセッションが終始する場合があります。

【よくある質問】

Q：家にはプリンターがありません。

申込み書類（申込書・受講同意書）はどのように手に入れればいいですか？

A：ウェブページに掲載しているものと同じものが、ロイヤルベルクリニック 発達相談 PRISM の受付に置いてあります。

締切日までに PRISM まで来院することが難しい方は、

メール (royalbellprism@gmail.com) か FAX (052-879-6672) で

- ①お名前(返信封筒の宛名にしてよい方の名前)
- ②お子さんのお名前・ID 番号（診察券番号）
- ③郵便番号・住所
- ④電話番号
- ⑤「視覚的コミュニケーション支援コース申込み書類希望」

をお知らせください。こちらから郵送いたします。

Q：風邪などでお休みした時には、セッションはどうなりますか？

A：お休みの代替日程として、2回予備日を設けてあります。そのため、2回は振替セッションを行うことができます。申し訳ありませんが、それ以上お休みされた場合は、振替えることは困難です。また、2回以上お休みされた場合も、料金の払い戻しには応じかねます。

Q：費用はどのように払えばよいですか？

A：契約成立後、第一回セッションの前までに受付にて一括でお支払いいただきます。クレジットカードが使えませんので、現金でお支払いください。

Q：絵カードを使うと、言葉を話すのが遅れるのではないですか？

A：PECS よくある質問集 (<http://www.pecs-japan.com/PECS-FAQ.htm>) より

「もし PECS を使うと、その人は話すことをおぼえようとはしなくなる？」

他のどの代替コミュニケーション・システムでも言えることですが、PECS を使う人は、言葉による〔音声言語〕コミュニケーターになる可能性が高くなります。これまでの研究結果によると、PECS を使う人の中には言葉を話すようになる人がいますし、その言葉は PECS を使ったために出てきたと考えられています。しかし、私たちにも分かることは、たとえ PECS を使って言葉が出ない人でも、自分の周囲の世界で、多くの人とコミュニケーションをとるための効果的な方法を持っているということなのです。

Q：うちの子は言葉を話しますが、絵カードでのコミュニケーションは必要ですか？

A：言葉を話していても、

- ・本当に要求したいことを言葉で表現できない
 - ・言葉でのコミュニケーションが人に向かわない（その場で物に向かって話したり、要求すべき大人が遠くにいるのに、その場から動かずに話したりする）
 - ・聞かれたときには答えるけれども、自分から要求することがない
- などの場合は、絵カードでのコミュニケーション練習が有効と考えられます。

こちらも参考にしてください。

PECS よくある質問集 (<http://www.pecs-japan.com/PECS-FAQ.htm>) より

Q. PECS が適しているのはどんなタイプの子どもや大人ですか？

A. 今のところ、どんな人に PECS が適しているかを正式に評価する方法はありません。
しかし、いくつかの基本的な問が役に立つかもしれません。

1. その人は、現在しかるべき機能的コミュニケーション・システムを持っていますか？
すなわち、その人は、自分の欲求や要求を他者に伝えることができますか？
2. その人が伝えようとしているメッセージを、他の人たちは常に理解していますか？
3. その人が現在使っている言語構造は、その人に必要な複雑さに達していますか？言い換えると、その人が伝えるメッセージは、その人にとって重要な詳細をすべてカバーしていますか？
4. どのような条件下で、その人はコミュニケーションを取っていますか？自発的？応答的？模倣的？機能的コミュニケーションと言えるものならすべて、自発的なコミュニケーション・スキルと、さまざまな問への応答のコミュニケーション・スキルを含みます。

上述の問のいずれかの答が「いいえ」なら、その子どもは PECS の候補者です。絵カードを交換する運動スキルを持ってさえいれば。

☆その他 PECS については

<http://www.pecs-japan.com/index.html> を、

PECS に関する質問については

<http://www.pecs-japan.com/PECS-FAQ.htm> をご参照ください。

★その他ご不明な点は

FAX (052-879-6672) かメール (royalbellprism@gmail.com) で

「視覚的コミュニケーション支援コース 担当者」までご連絡下さい。

お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

- ・原則として、お問い合わせから 1 週間以内にお返事を致します。1 週間経っても PRISM からの返事がない場合のみお電話でお問い合わせください。

★また、当院を受診されていない方の個別指導のみの受講は承ることができません。

恐れ入りますが、受診をなさってから個別指導へお申し込みください。

初診のお申込みは PRISM 受付 (052-879-6675) で承っております。